

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2005年7月28日

58号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991



秋 チャリティーコンサートへの取組み決まる

ロシア民族アンサンブルの協力で

梅雨明けと同時に、夏も本番の暑さとなりました。夏は、障害のある人も無い人も体調をたもつのに大変なときではありますが、本来、植物も、生き物も一番成長する季節。熱中症を気に掛けながらもはつらつと活気に満ちた日々をすごしたいものです。

* * *

別途報告にもありますが、7月の11日に今年度の第一回総会が開かれ、支える会にとつてとても大切なことが提案されました。数年前に検討され、グループホームの建設などで忙しくしていましたが、討議の結果来年度をめどに特定非営利活動法人（NPO）への準備をはじめることになりました。より長く安定した形で重度障害者の生活を支え、地域への啓発活動や、実践を通して福祉への提言を行っていくために、いささかの努力をしようということです。これから経過をお知らせしながら少しずつ進めて行きます。

次に、今年もロシア民族アンサンブルの皆さんの協力で、チャリティーコンサートを行うことになりました。夏休みをはさんでの取り組みで、チケットの販売にすこし心配もありますが、皆さんのご協力で成功させたいとおもいます。（実行委員会で取り組みます。）

重度障害者のグループホームは、公的な補助金だけでは不十分です。特に生活環境の整備や、職員などの人材の募集と育成にかかる経費は、私たち「支える会」の担うところとなっています。これからも出来るときに資金を積み上げていく必要があります。

地域の中で生き生きと暮らしたい！！

重度重複障害者グループホーム支援チャリティーコンサート

ロシア民族アンサンブル “ベリョースカ” <白樺>

日時： 9月21日(水) 午後6時30分開演

会場： 港北公会堂 全600席

入場料： 前売り3000円 当日3500円



元気になって思うこと

ボランティアやまびこの会代表 門脇 トモ子

健康だけが取り柄だった私が、今年の冬に思いがけず2ヶ月余りの入院生活を経験致しました。地元町会の新年会に参加した帰途のこと、玄関から廊下に上がると足が動かず立ち上がることが出来なくなったのです。これが風の細菌の中でも一番やっかいなギランバレー症候群に取りつかれた始まりでした。

手足が動かず寝たきりの毎日が十ヶ月位続くかも、と医者に宣告された時は絶望のどん底に落ち込みました。なんとしても一日も早くもとの健康体に戻りたいと入院後毎日必死になってリハビリに励みました。薬も注射も不要とのことで、ひたすら広いリハビリ室を歩く毎日でした。始めは杖をつき後ろから支えられながらの毎日でしたが、十日目ぐらいから普通に何とか歩けるようになった時は、嬉し涙が出る程でした。自分の二本足で元気に歩けるのは素晴らしい!!と思うなんて……。おかげ様で今では元どおり元気で仕事に励んでおります。健康が一番の宝ですね!!

平成17年度第1回総会報告

日 時：7月11日(月)10:30～ 場 所：活動ホームしもだ

1 平成16年度事業報告について 承認

・「第2よつばホーム」16年3月29日開所

・写真展「重度障害者の生活と支える人たち」 ・「TAWAWA」増刊号の発行

2 平成16年度収支決算報告について 承認

3 平成17年度事業計画(案)について 承認

グループホームの運営支援 チャリティーコンサートの実施 写真展の検討等

4 平成17年度収支予算案について 承認

5 規約一部改訂について 承認

a) 1.総則の3)事業

グループホームの設置運営 → グループホームの運営支援、啓発を加える

b) 2.組織の3)役員数の変更

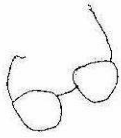
副会長→ 2名 会計→ 2名 書記→ 2名 新設広報担当役員→ 2名

資金作り担当→ 数名 グループホーム担当役員→ 2名

6 役員改選について

7 これからの「支える会」のあり方について NPOの課題をどうするか

出席者1人ひとりに意見を聞き討議したところきちんとした形にしていくことが必要という事で全員が申請に賛同しました



めがねのこえ

この前大阪で活動している弁護士さんに、セイフティーネットの話しを聞く会がありました。障害者たちが安心して暮らせるためのネットワークづくりです。

障害者が学校を卒業すると 悪い人達は それから2年待って 20才のお祝いがすむと、いろいろな物売りつけたり だましたりはじめるのです。たくさんの人がいろいろな詐欺に会っているという話に 私はおどろきました。

それからコンビニなど 黙って入って行って買い物をする場所で 障害者がお金を払うことを知らないで 品物を持って帰ろうとしたとき お店の人が障害のある人だと分からないと警察を呼んだりしてしまう。

警察官もよく分からなくて「盗ったのか」と聞くと 障害者は「はい」と答えてしまっていてつかまることになる。この繰り返しで 刑務所の中には、たくさんの障害者がいるそうです。

* * *

私はその話を聞いて いつも私に声をかけてくれるお店のおばさんたちのような人ならば 知的障害のある人達のことでも分かると思うし すぐ警察を呼んだりはしないでしょ。家に電話をしてお金を持ってきてもらったり 優しく対応してくれるのではないかとおもいました。警察も障害者のことを理解してほしい。

障害のある人には 小さいときから町の中をたくさん歩いてほしい。お店の人達もだんだん大きくなるようすを見たりしていると 一人や二人は知っている人が出来たりちょっと声をかけてくれる人も いるようになると思います。

私にも できることがあれば なにかお手伝いしたいとおもいました。

大原友子

ご入会・ご継続ありがとうございます。

(敬称略)

8月号は休みます。



《会 員》

富岡 正道

《賛助会員》

飯田 静子 平等 志成

《団 体》

パナホーム株式会社

今月のよつばホーム

よつばホーム

よつばではプランターでたくさんの花を育てています。今までは主に職員やヘルパーさんが水やりをしていましたが、今年の春頃から入居者である高島さんがメインで水やりするようになりました。

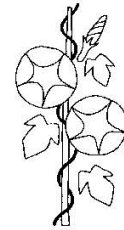
夕方涼しくなってから行うのですが、風が気持ちいい日などは雑草などの手入れなども含めて1時間ほど外で過ごすこともあります。高島さんと一緒に水やりするようになって、気がついたことがあります。

平日の夕方は今まではよつばの中で過ごすことが多かったのですが、外にいと通りを歩く人の視線を感じます。学校帰りの小学生、買い物へ行く人、散歩するお年寄り…。私は道を通る人のうち、高島さんが水やりする姿を見て「ああここは車椅子の人の家なんだ」と認識するようになった人も多いのではないかと思います。

いつの間にか水やりの風景が、ここは障害のある人たちが住んでいる家だというアピールの1つになっているような気がします。今は朝顔が咲いています。もうじきひまわりが咲くので、みんなで楽しみにしています。

第2よつばホーム

先月に引き続き、今月は第2よつばに入っている女性ヘルパーさんを紹介いたします。



山田さん—主に月曜日 16:00～翌9:30

バイト兼ヘルパーの形で、ヘルパーの派遣時間が終わった夜間も（泊まり）

バイトとして入ってもらっています。他のグループホームにも行っているベテランさん。

本木さん—主に水・木 16:00～翌9:30

バイト兼のヘルパーさん。体を動かすのが好きなスポーツウーマン。

最近「ダイエット」が口癖みたいです。

水野さん—曜日に関らず 7:30～9:30 や 16:00～18:00 等

勝田団地（近所）に住んでいるヘルパーさん。まだ新しいヘルパーさんです。最近水野ワールドに皆さんハマリ気味。

鈴江さん—曜日に関らず 7:30～9:30 等

入居者のお母さん方とお友達のヘルパーさん。

開所当時から入っています。

菅井さん—曜日に関らず 19:00～21:00 等

普段は近くにある施設（横浜らいず）で働いているヘルパーさん。

料理がとっても上手です。

荒木さん—曜日に関らず 19:00～21:00 等

よつばホームにも時々入っているヘルパーさんです。

ガイドヘルパーとしても活躍して頂いています。

